

令和6年1月～3月におけるSNS型投資・ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について

1 概要

令和6年1月から3月末までに都道府県警察が認知したSNS型投資・ロマンス詐欺に係る被害発生状況及び同期間におけるSNS型投資・ロマンス詐欺の検挙状況について調査し(※)、取りまとめたもの。

(※) 調査は、以下の分類に基づいて実施

○ SNS型投資詐欺

SNS等を通じて対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、投資金名目やその利益の出金手数料名目などで金銭等をだまし取る詐欺(SNS型ロマンス詐欺に該当するものを除く。)

○ SNS型ロマンス詐欺

SNS等を通じて対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、恋愛感情や親近感を抱かせて金銭等をだまし取る詐欺(令和5年調査は、相手方が外国人又は海外居住者を名乗ったものを調査対象として実施。)

2 認知状況(令和6年1月～3月)

	認知件数	被害額
SNS型投資詐欺	1,700件	約219.3億円
SNS型ロマンス詐欺	603件	約60.6億円
合計	2,303件	約279.8億円

- いずれも前年同期比で大幅に増加。
- 特に、SNS型投資詐欺については、認知件数及び被害額共に、昨年下半年に引き続き急増。
- SNS型ロマンス詐欺の認知件数についても、昨年下半年からの増加傾向が継続。被害額についても、引き続き高い水準で推移。
- 1件当たりの平均被害額については、SNS型投資詐欺は約1,300万円であり、SNS型ロマンス詐欺は約1,000万円となっている。
- 被害最高額については、SNS型投資詐欺は4億5,000万円、SNS型ロマンス詐欺は約1億2,000万円となっている。
- 被害者の年齢層については、SNS型投資詐欺は男女共に50～60歳代が半数を超え、SNS型ロマンス詐欺は男性50～60歳代、女性40～50歳代が半数を超えている。
- 被害者との当初の接触手段については、SNS型投資詐欺はバナー等広告が約半数、SNS型ロマンス詐欺はダイレクトメッセージが約6割を占めている。
- SNS型ロマンス詐欺においても、詐欺の名目は投資が7割以上を占めている。

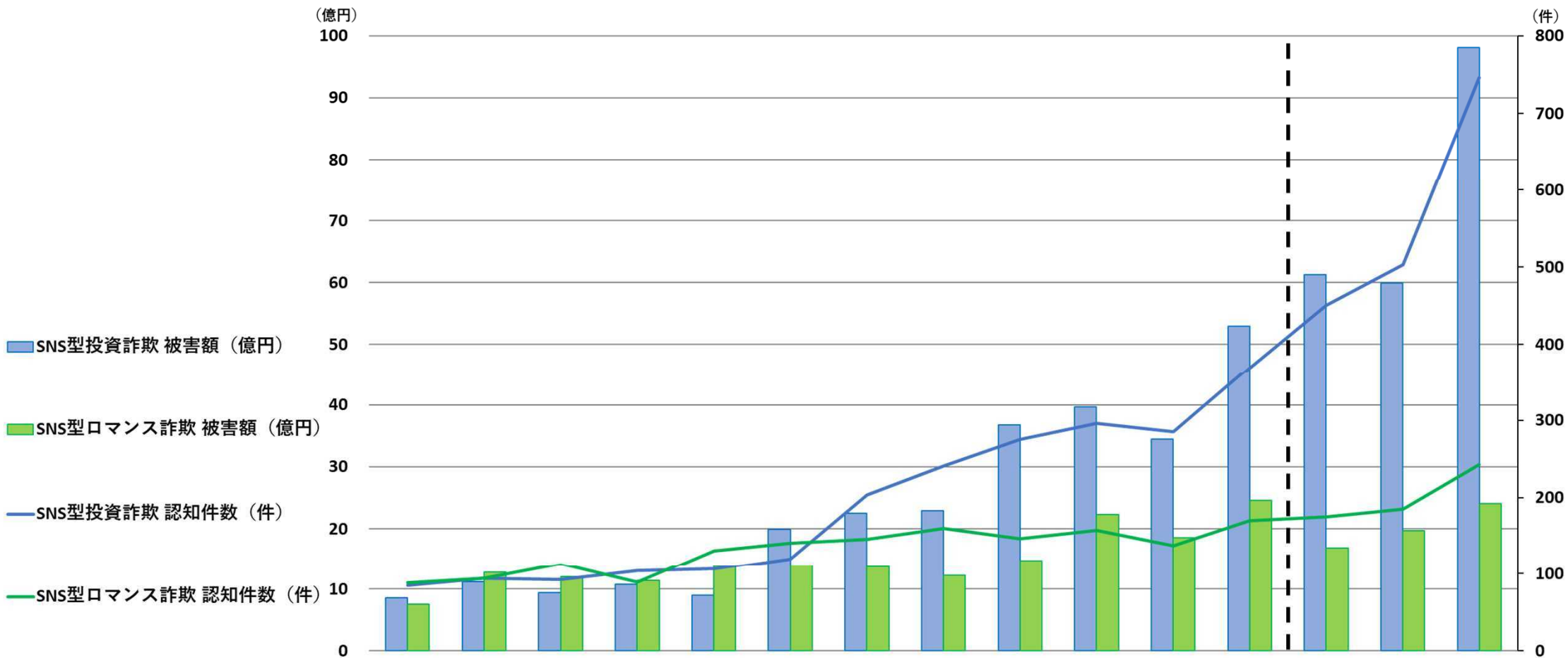
3 検挙状況(令和6年1月～3月)

	検挙件数	検挙人員
SNS型投資詐欺	5件	4人
SNS型ロマンス詐欺	4件	5人
合計	9件	9人

4 今後の対策

警察庁及び都道府県警察においては、令和6年3月に、SNS型投資・ロマンス詐欺への対策を抜本的に強化したところであり、引き続き、全国警察が一体となり、捜査と抑止を両輪とする総合的対策を強力に推進していく。

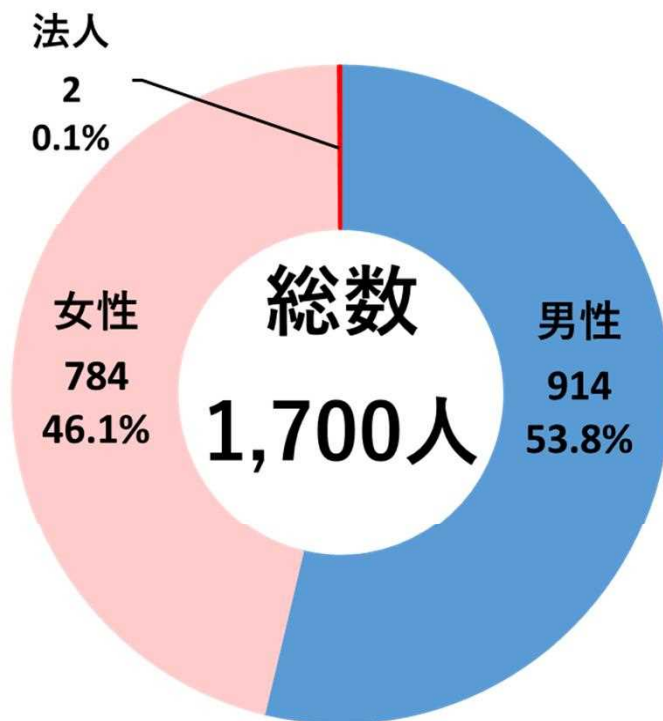
S N S 型投資・ロマンス詐欺の認知件数・被害額（令和 6 年 3 月末・月別）



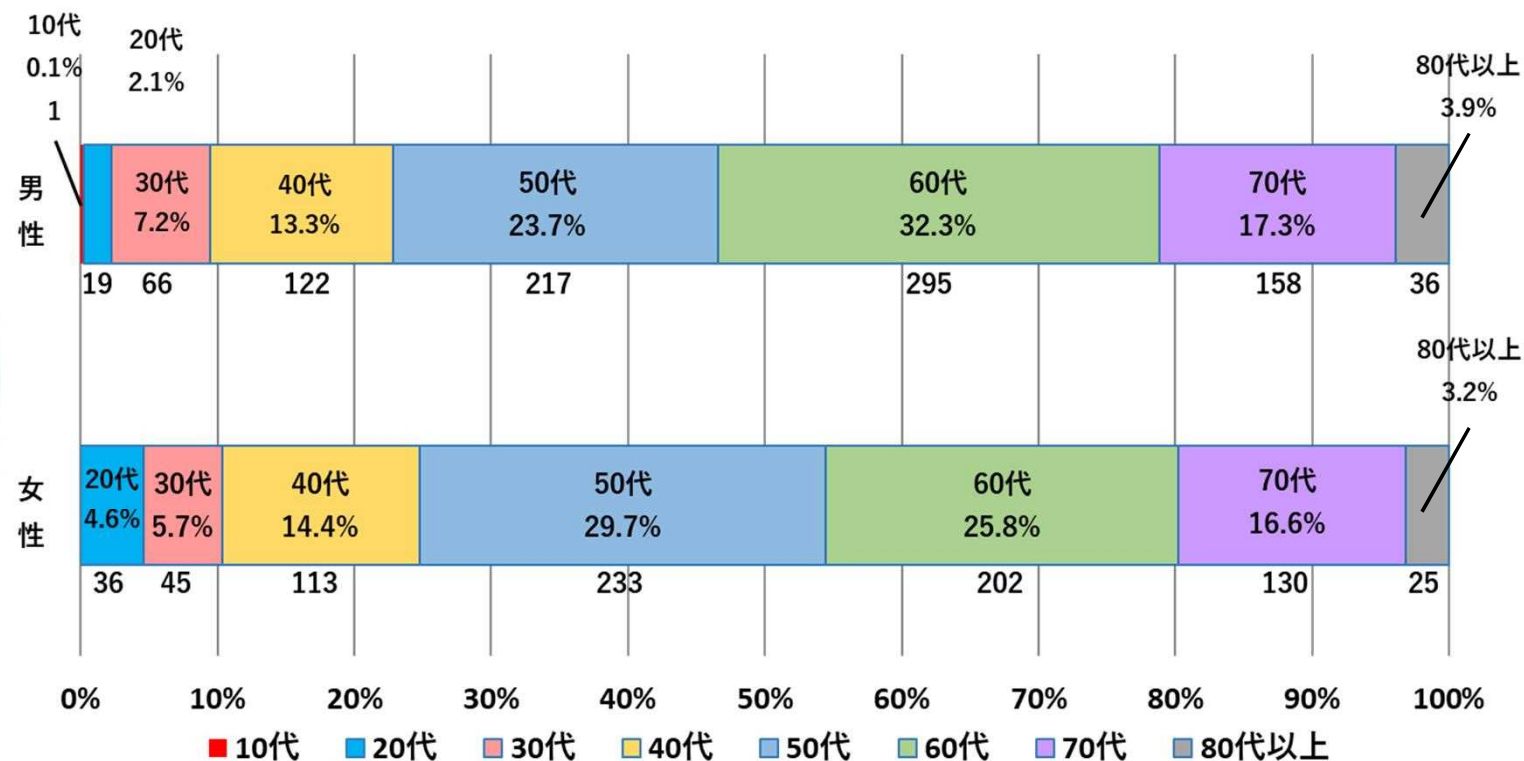
※ 令和 5 年中の調査においては、SNS型ロマンス詐欺について、相手方が外国人又は海外居住者を名乗ったものを調査対象として実施

S N S型投資詐欺の被害発生状況（R6.1～R6.3） （1,700件、約219.3億円の被害）

被害者の性別

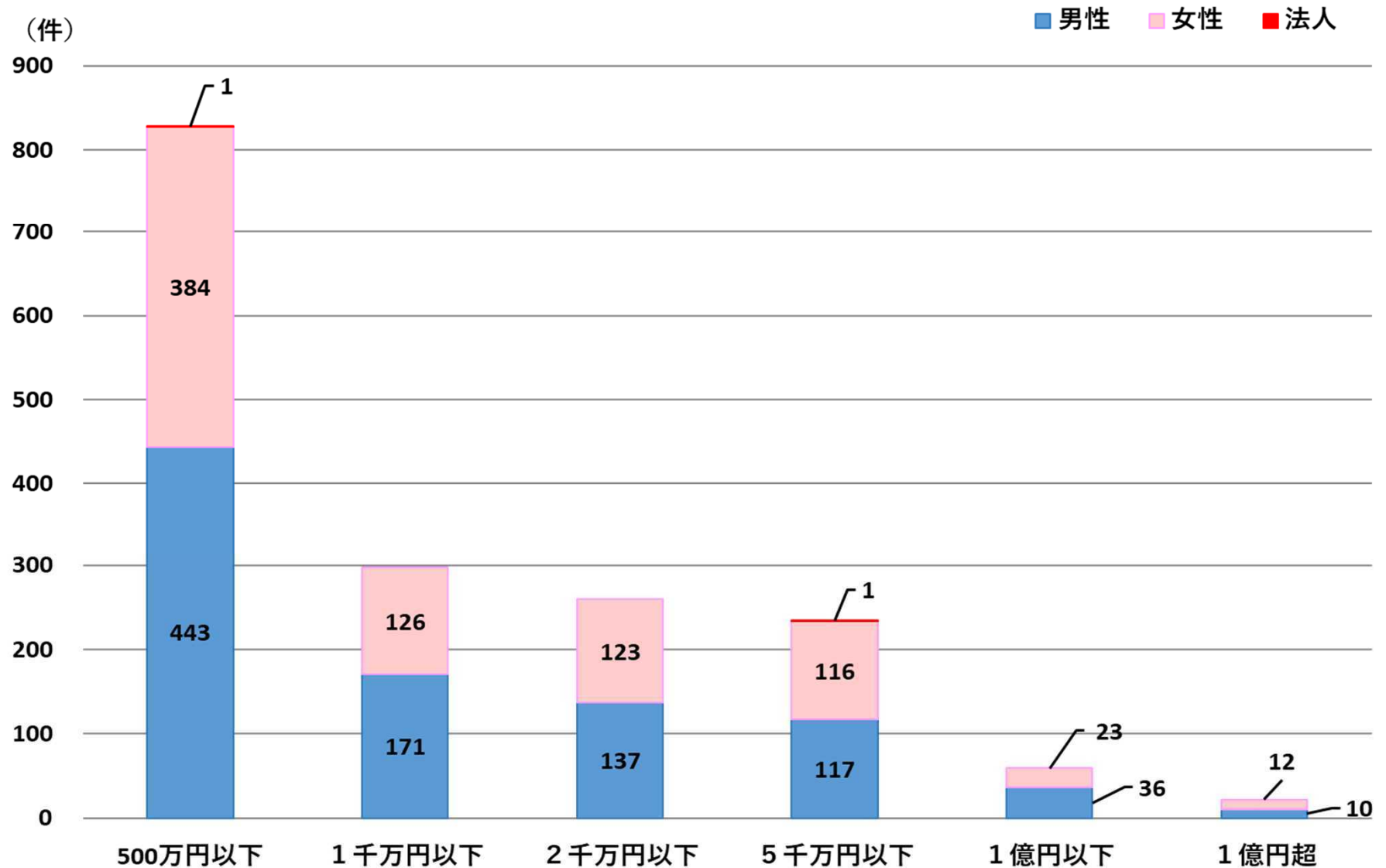


被害者の年齢層



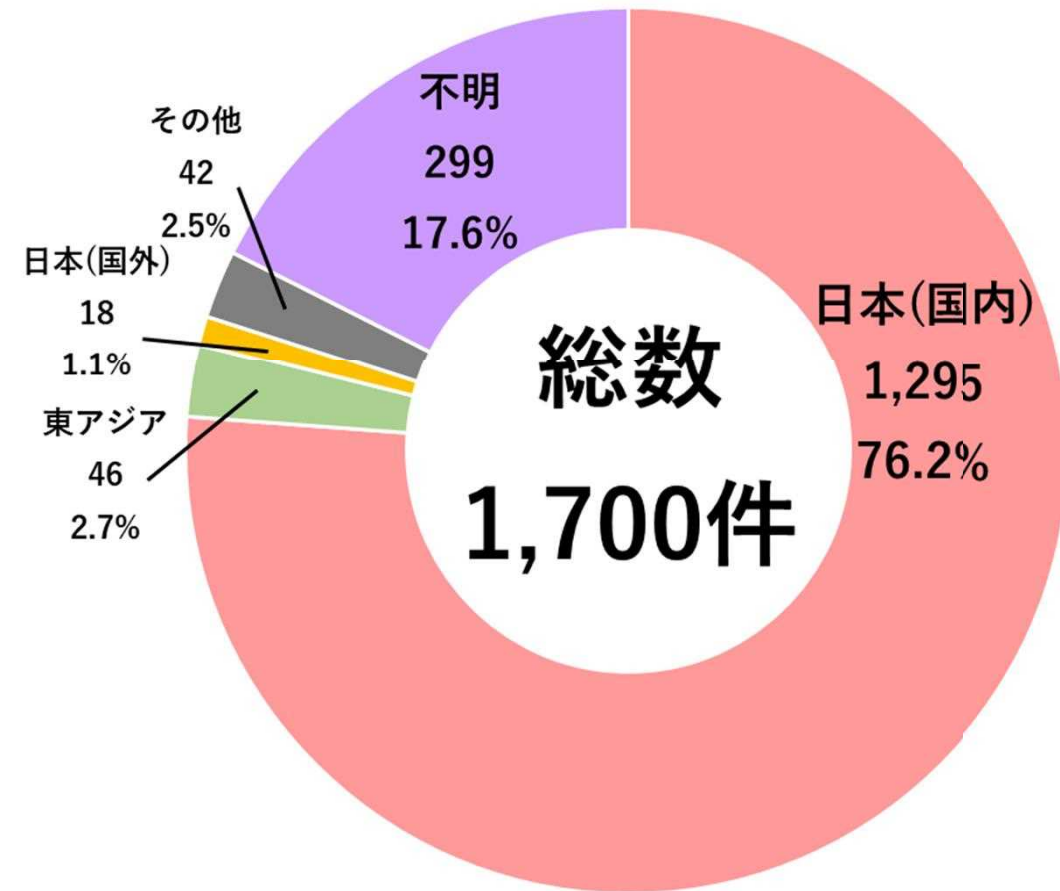
- ✓ 男性の被害がやや多い
- ✓ 男女共に50～60歳代の被害が半数を超えている

被害額の分布

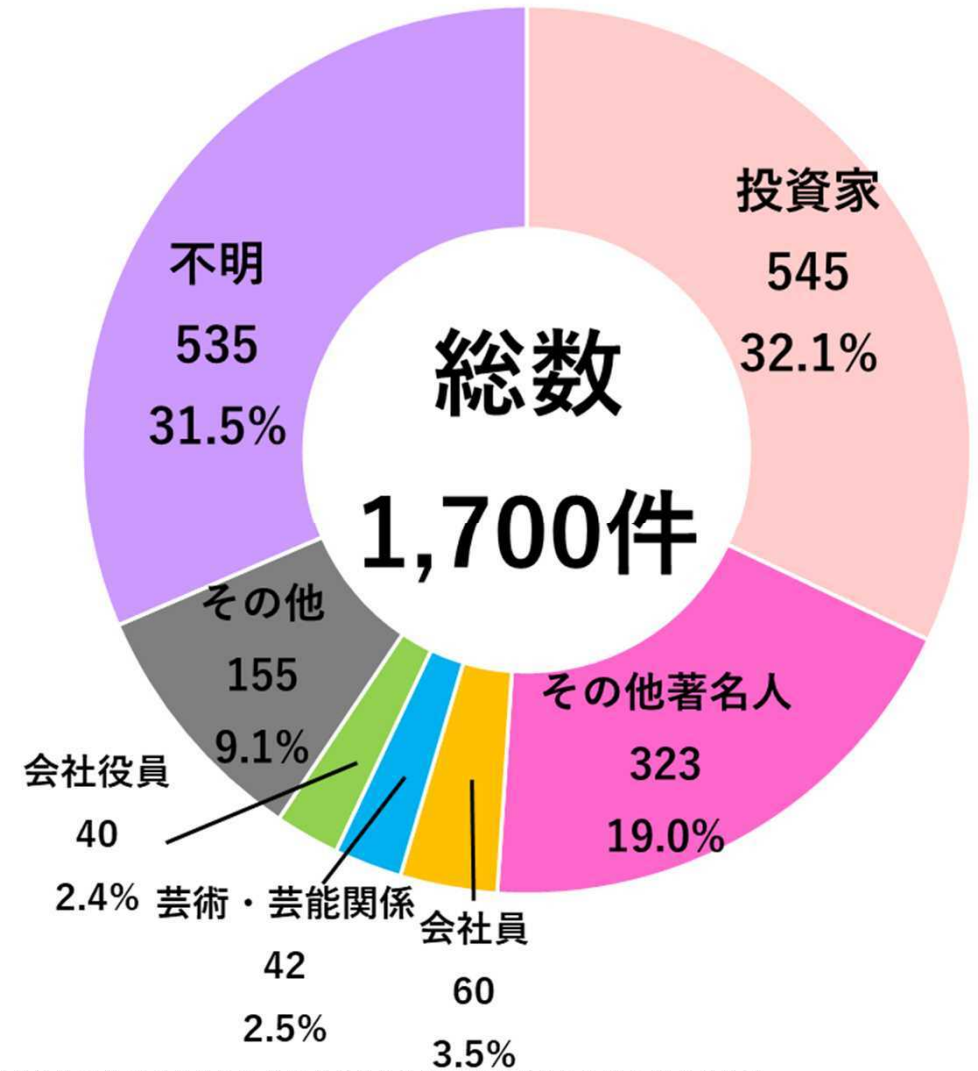


- ✓ 500万円以下の被害が多いが、1億円超の高額被害も発生
- ✓ 男女間で被害額の傾向に大きな差はない

被疑者が詐称した身分（地域）



被疑者が詐称した職業



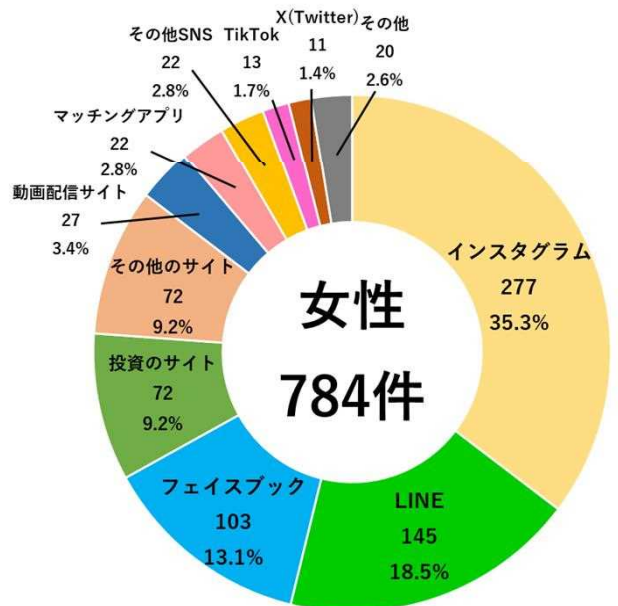
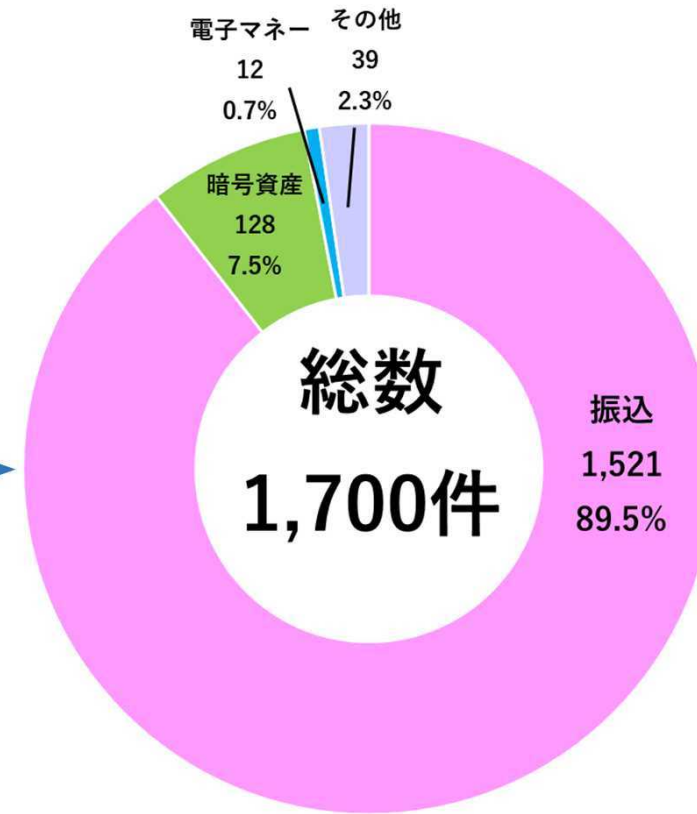
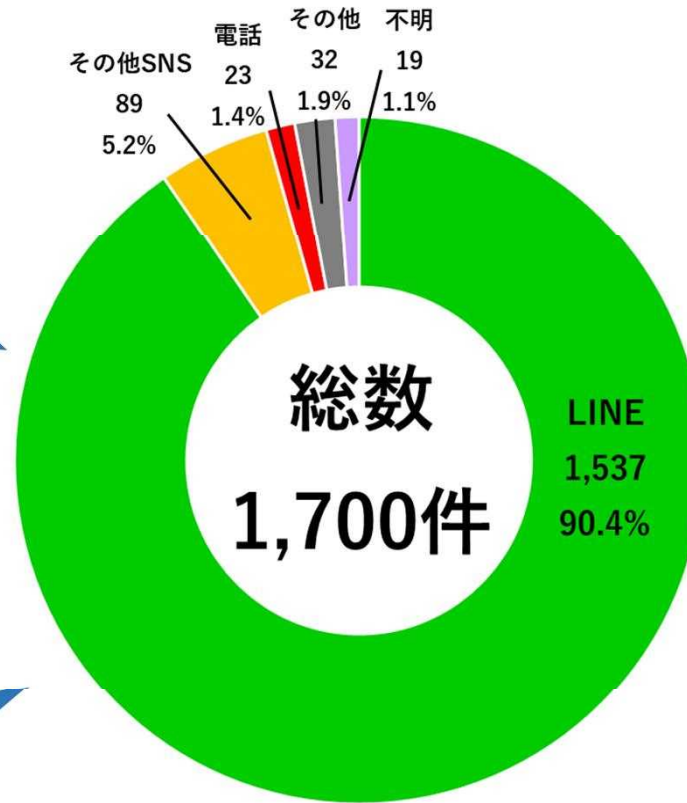
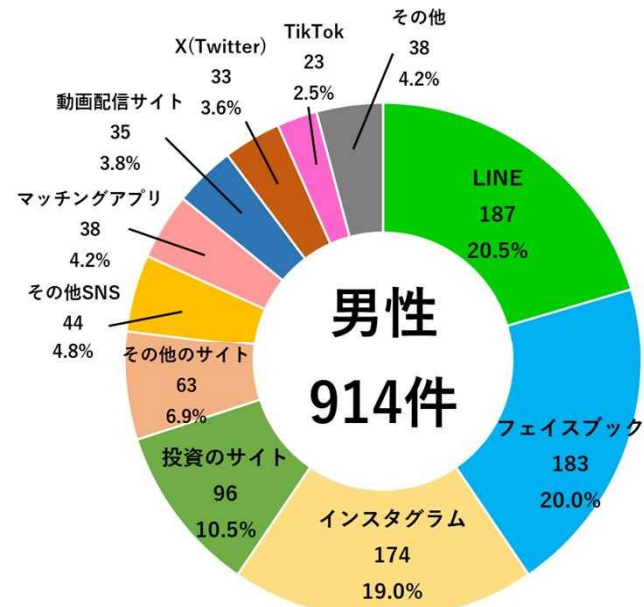
- ✓ 詐称した身分（地域）は日本を含めアジア系が多い
- ✓ 詐称した職業は、投資家や著名人が約半数

(SNS型投資詐欺の被害発生状況 続き)

当初接触ツール

被害時の連絡ツール (欺罔が行われた主たる通信手段)

被害金の主たる交付形態

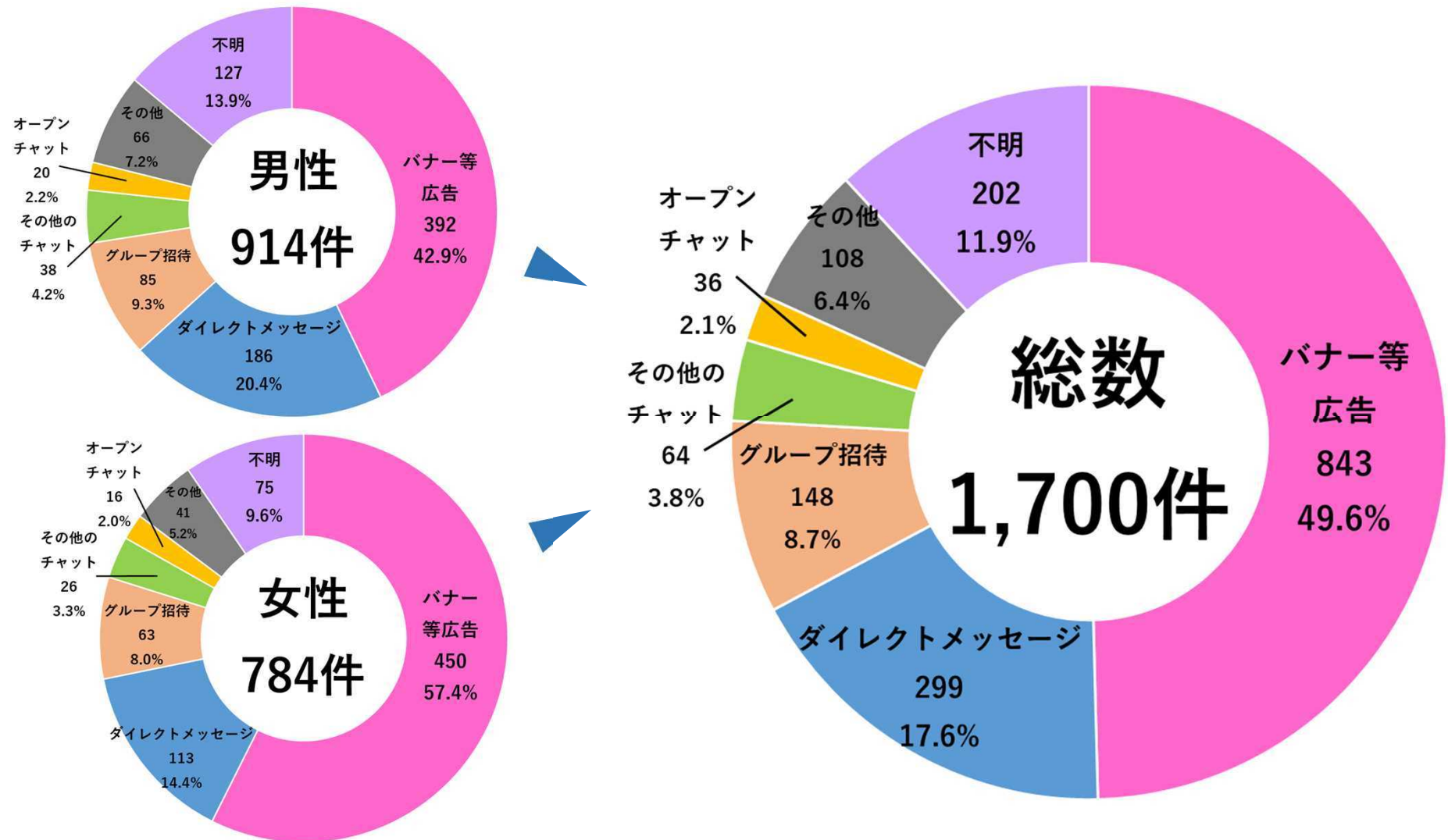


- ✓ 当初の接触ツールは、男女共にインスタグラム、LINE、フェイスブックで約6割に上るが、その内訳は男女間で異なる
- ✓ その後、連絡ツールを移行させ、預貯金口座への振込により詐取するケースが多い

※上記グラフの他に法人2件あり
(フェイスブック1件、インスタグラム1件)

(SNS型投資詐欺の被害発生状況 続き)

被害者との当初の接触手段

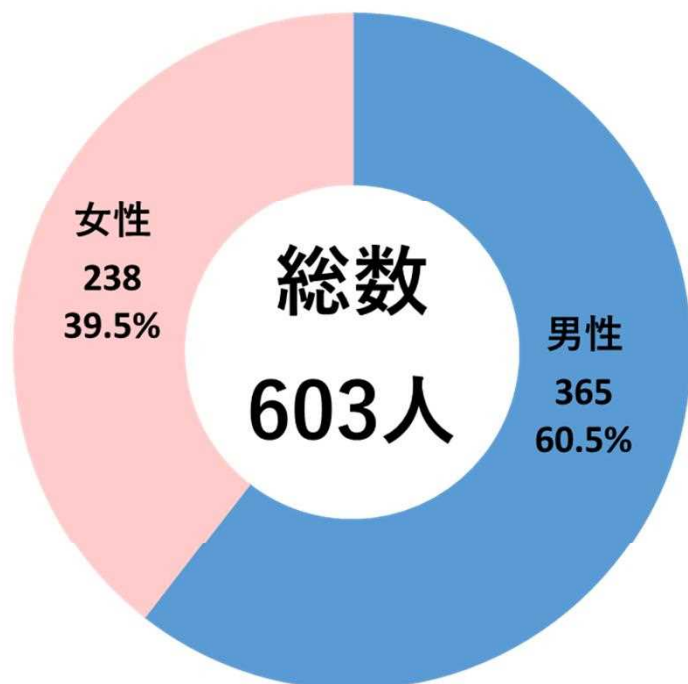


※上記グラフの他に法人2件あり（バナー等広告1件、その他1件）

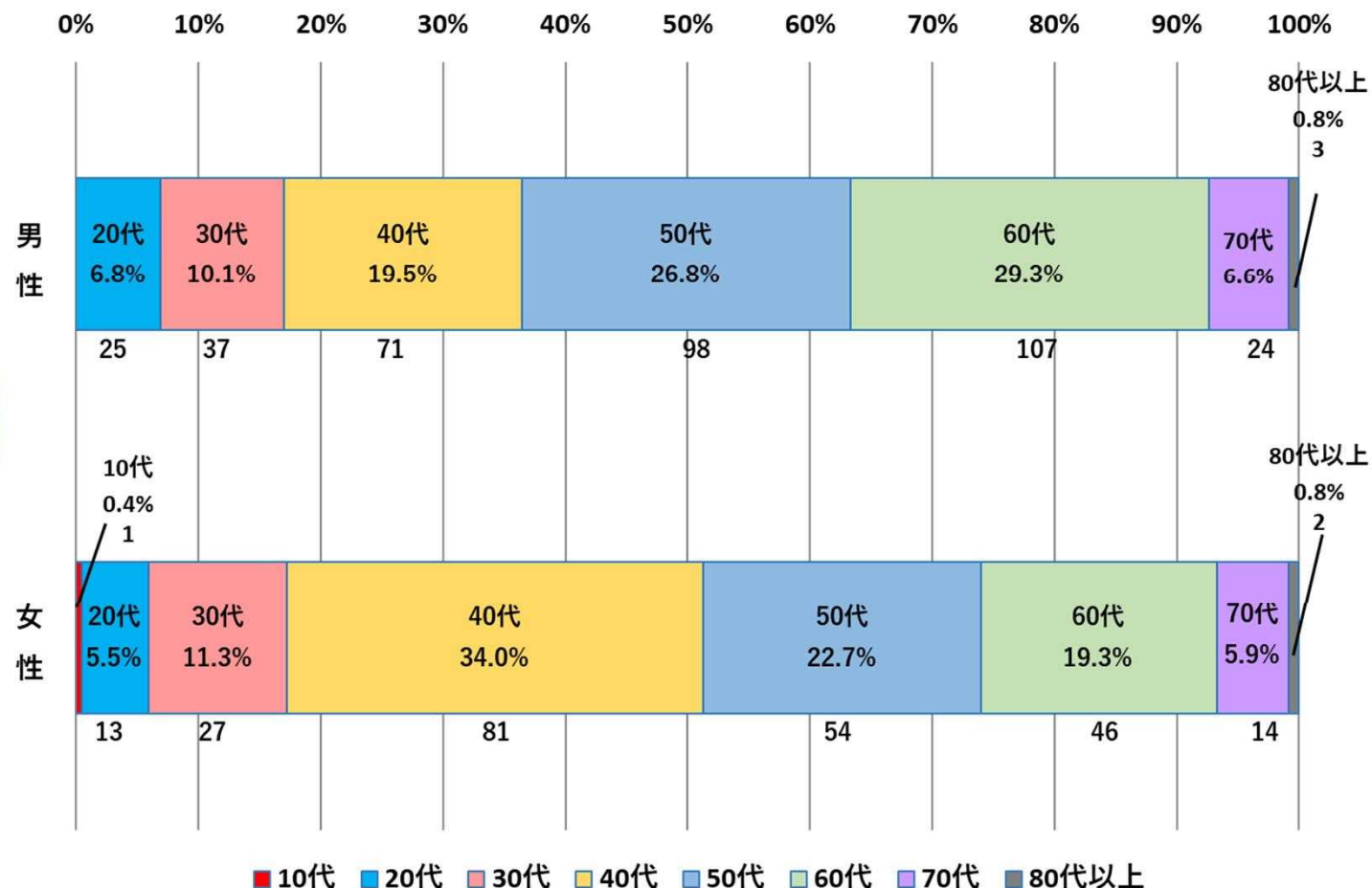
✓ バナー等広告が当初の接触手段の約半数

S N S 型ロマンス詐欺の被害発生状況（R6.1～R6.3） （603件、約60.6億円の被害）

被害者の性別

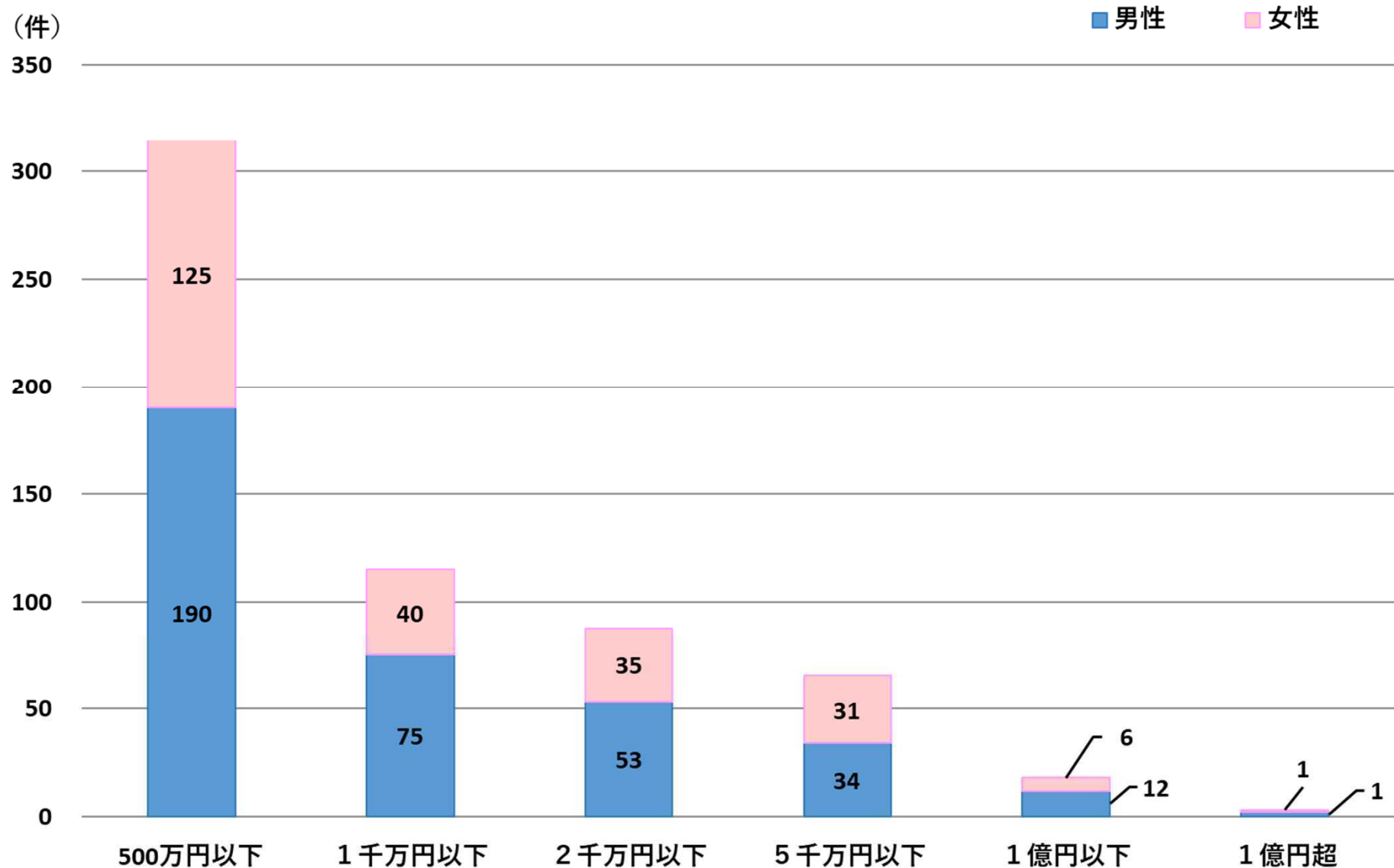


被害者の年齢層



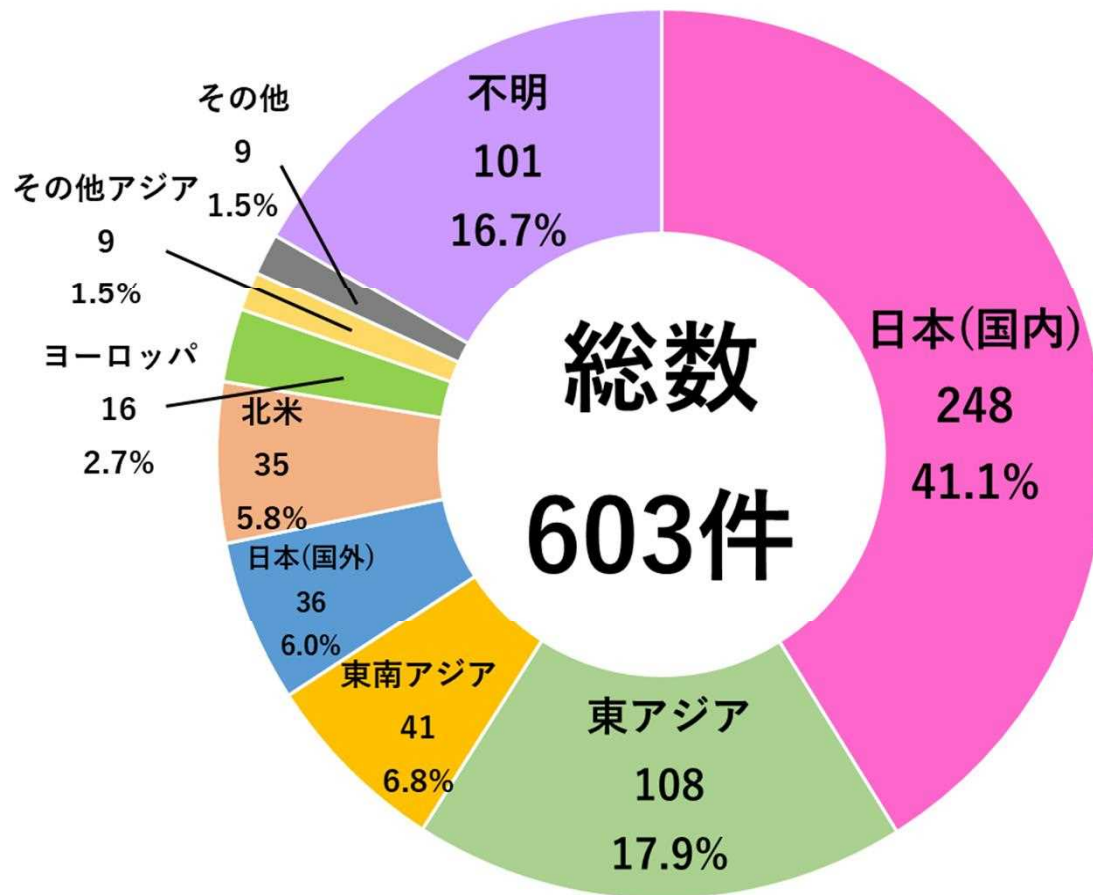
- ✓ 男性の被害がやや多い
- ✓ 男性は50～60歳代、女性は40～50歳代の被害が共に半数を超えている

被害額の分布

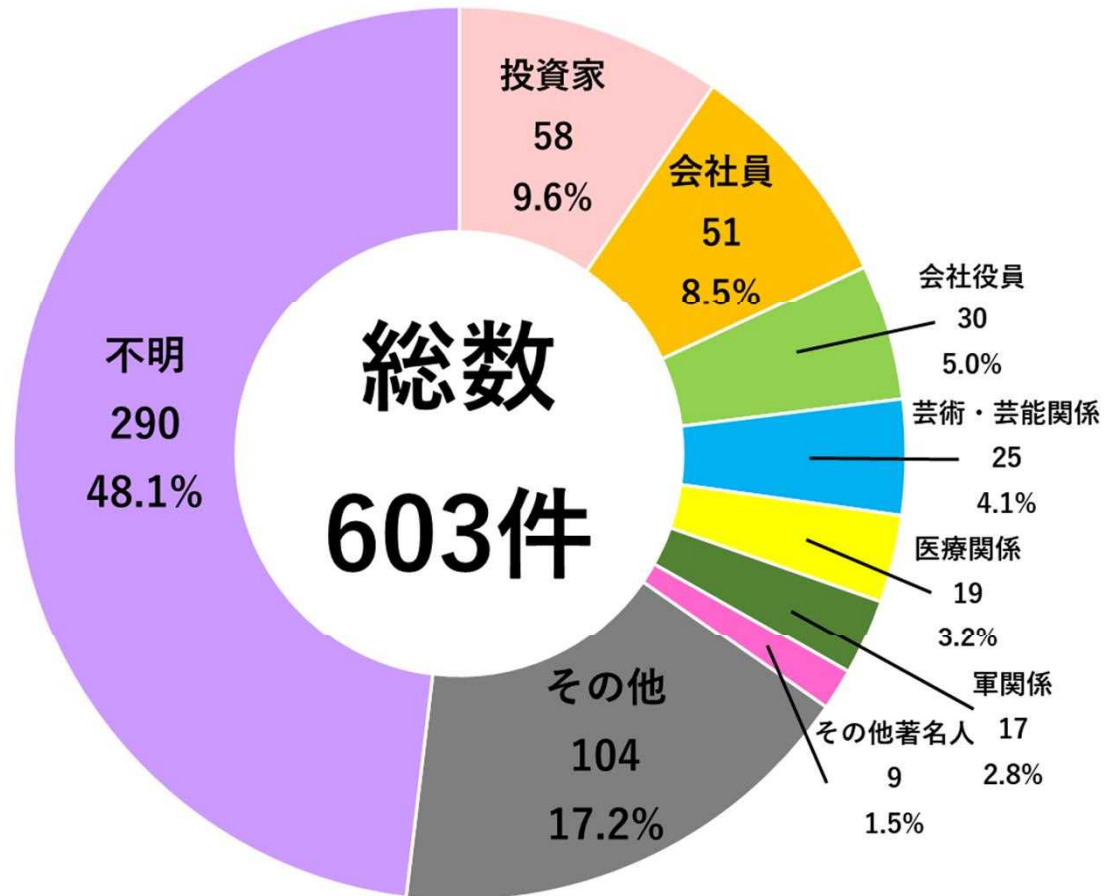


- ✓ 500万円以下の被害が多いが、1億円超の高額被害も発生
- ✓ 男女間で被害額の傾向に大きな差はない

被疑者が詐称した身分（地域）



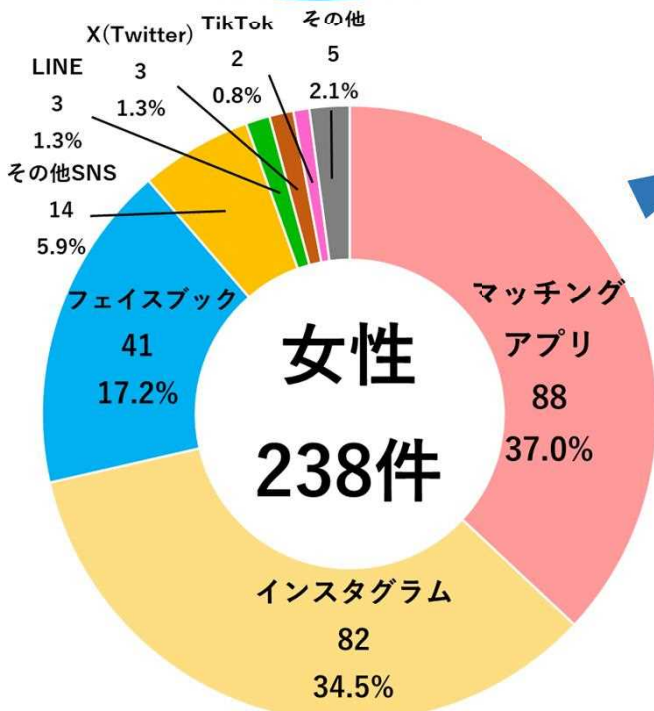
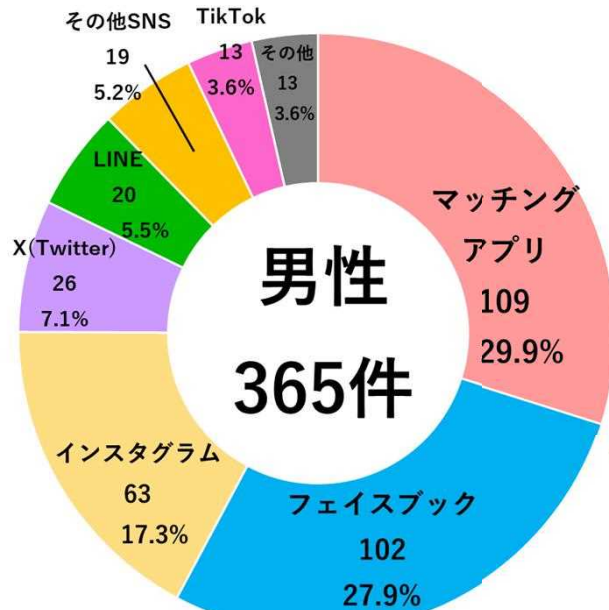
被疑者が詐称した職業



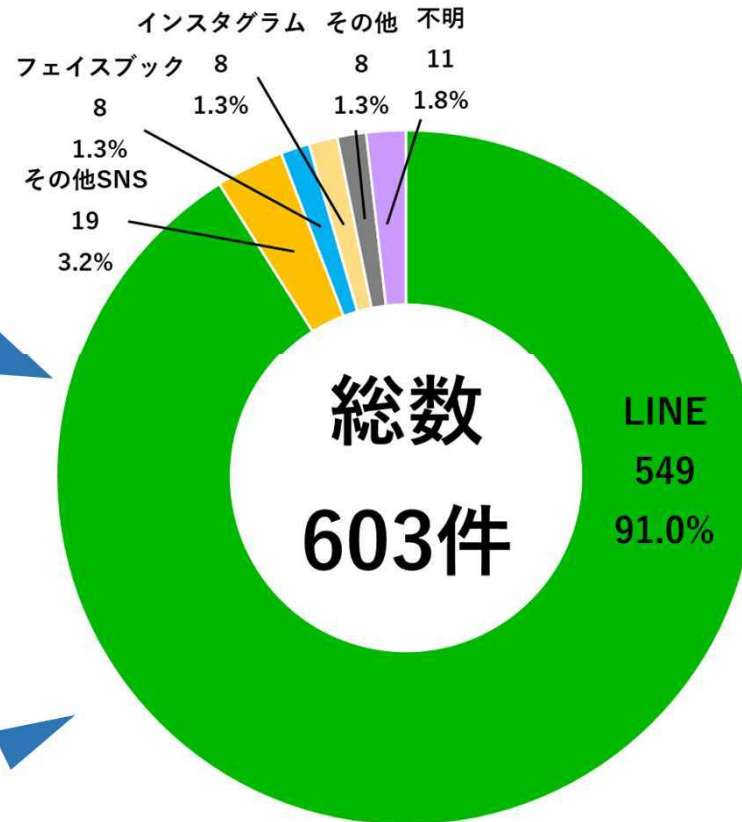
- ✓ 詐称した身分（地域）は日本を含めアジア系が多い
- ✓ 詐称した職業は投資家など多様

（SNS型ロマンス詐欺の被害発生状況 続き）

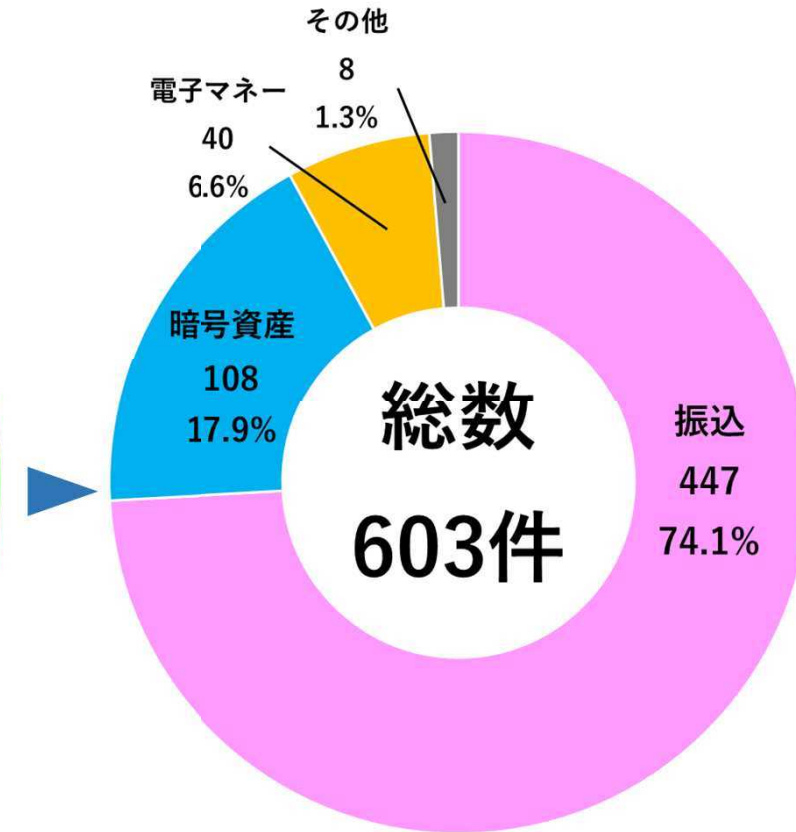
当初接触ツール



被害時の連絡ツール (欺罔が行われた主たる通信手段)



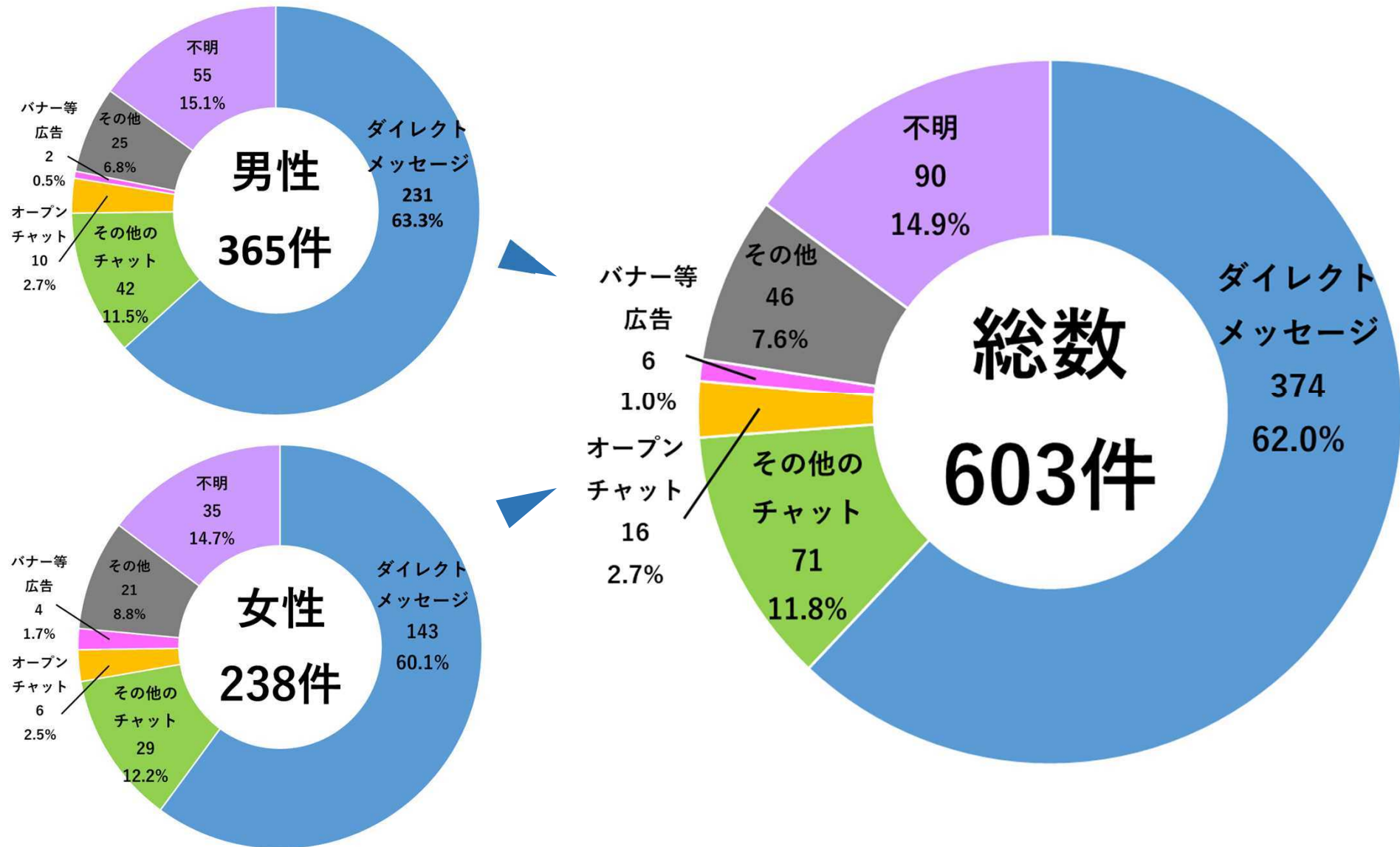
被害金の主たる交付形態



- ✓ 当初の接触ツールは、男女共にマッチングアプリ、インスタグラム、フェイスブックが大半を占めるが、その内訳は男女間で異なる
- ✓ その後、連絡ツールを移行させ、預貯金口座への振込により詐取するケースが多い

(SNS型ロマンス詐欺の被害発生状況 続き)

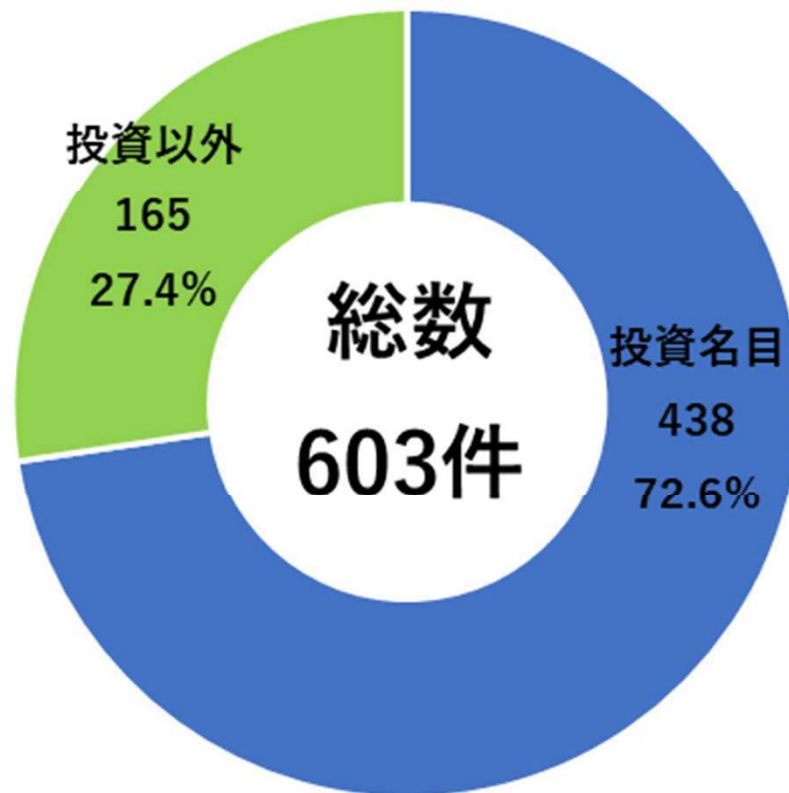
被害者との当初の接触手段



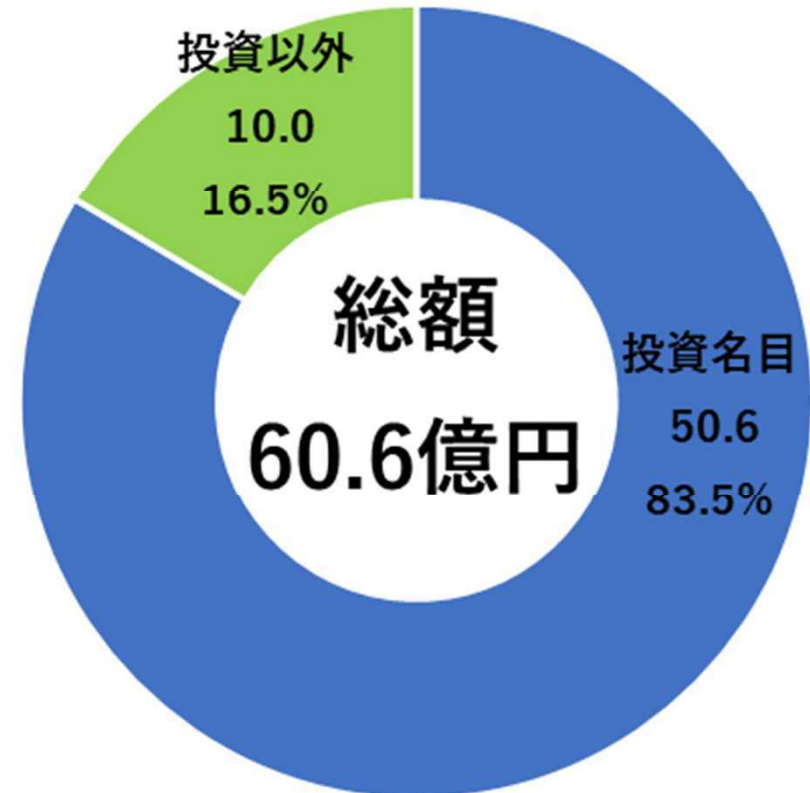
✓ **ダイレクトメッセージが当初の接触手段の6割以上**

金銭等の要求名目

(被害発生数ベース)



(被害額ベース)



✓ 恋愛感情等を抱かせた上で、大半が投資話を持ち掛け、金銭等を詐取している